

まちの予算と仕事



5万人都市 とみや 輝く未来50年

目次 CONTENTS

- ② ——— とみやの家計簿
- ④ ——— お金の使いみち
- ⑤ ——— 予算を町民一人あたりにすると…特別会計と水道事業会計の予算
- ⑥ ——— まちの主な仕事
- ⑫ ——— 予算が決定するまで町の基金と借入について

平成26年度当初予算は、2月24日に平成26年第1回富谷町議会定例会に上程され、予算審査特別委員会（3月10日～13日）の集中審議を経て、3月14日に原案可決されましたので、平成26年度の予算の概要と主な事業についてお知らせします。

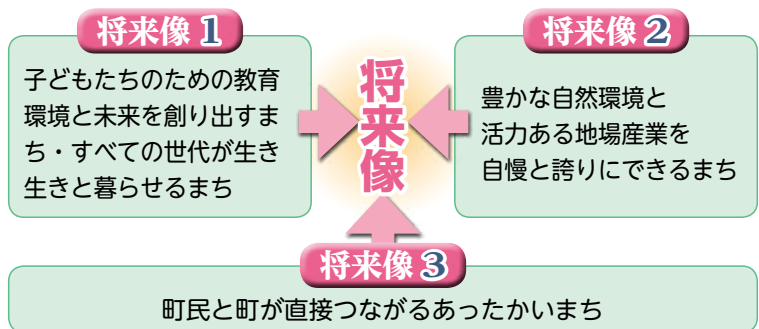
皆さんに納めていただいた税金などが、どのように使われ、まちづくりがどのように進められているか、各種会計の決算状況や総合計画の3つの将来像に沿ってまちの主な仕事をお知らせします。

問 財政課 財務担当 (☎358-0619)

富谷町では、5万人都市と町民の皆さんが主役となる新しいまちづくりを進めるため、計画的な町政運営の基礎となる新総合計画（H21～H30）を策定し、スタートしています。

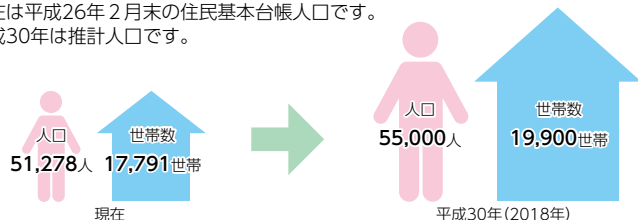
まちづくりの基本理念

幸せを実感でき 笑顔輝く あったかい富谷



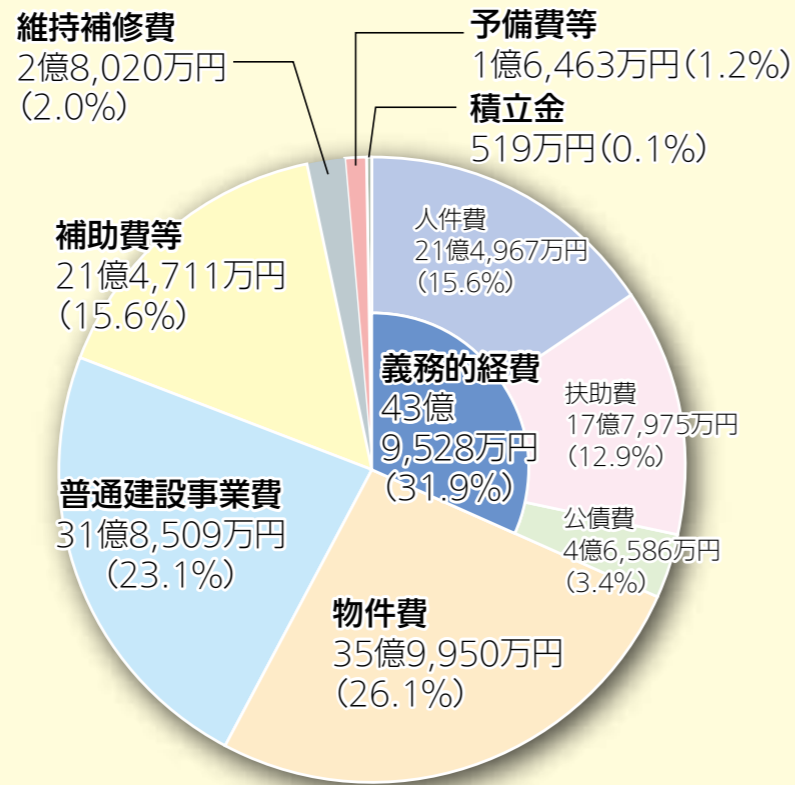
将来の人口と世帯数

※現在は平成26年2月末の住民基本台帳人口です。平成30年は推計人口です。



歳出面では、主に(仮称)明石台小学校建設事業や町道高屋敷線道路改良事業にかかわる事業費の増加および社会保障・税の一体改革に伴う消費税の引き上げにより、総額は増加しました。

歳出



用語解説

- 義務的経費**
人件費、扶助費、公債費の3つからなり、支出することが義務づけられている経費です。
- 物件費**
賃金、旅費、交際費、需要費、役務費、備品購入費、委託料、使用料・賃貸料などの経費です。
- 補助費等**
各種団体に対する助成金や報償金、役務費などの経費です。
- 普通建設事業費**
公共または公用施設の新増設等に要する経費です。
- 維持補修費**
町が管理する道路や学校などの施設維持や修繕にかかわる経費です。
- 予備費**
予定外の支出および予算を超過した支出へ対応するための経費です。
- 積立金**
基金へ積立てる経費です。

予算の基礎知識

- Q 予算ってなんだろう？
- A 1年度(4月から翌年3月)に町へどのくらいお金が入ってくるのか(収入)、また行政サービスをどのように行うか(支出)を計算し、1年間の費用を見積もります。町長が予算案をつくり、町議会の審議と議決によって成立します。
- Q 一度決めた予算は、変えられないの？
- A 変えられます。補正予算といいます。国の制度改正や当初予算編成時に見込めない事態の発生などにより、予算の支出額や収入額を変更しなければならない場合に行います。

※ 予算を年間支出676万4千円の家庭とすると

生活費 (人件費、物件費、予備費等)	290万3千円 (59億1,380万円)
子どもの学費、医療費 (扶助費、補助費等)	192万7千円 (39億2,686万円)
自宅の増築、修繕費 (普通建設事業費、維持補修費)	170万2千円 (34億6,529万円)
ローン返済 (公債費)	22万9千円 (4億6,586万円)
貯金 (積立金)	3千円 (519万円)

※()内は当初予算額
※一般会計予算額を全国消費実態調査における宮城県の年間収入676万4千円に合わせたもの。

歳入面は、自主財源である町税が前年度に比べ増加しているものの、依然として財政状況は厳しく、地方交付税や国・県支出金、地方債などの依存財源が、歳入の大きな部分を占めています。

歳入

■自主財源 (55.1%) 75億9,484万円

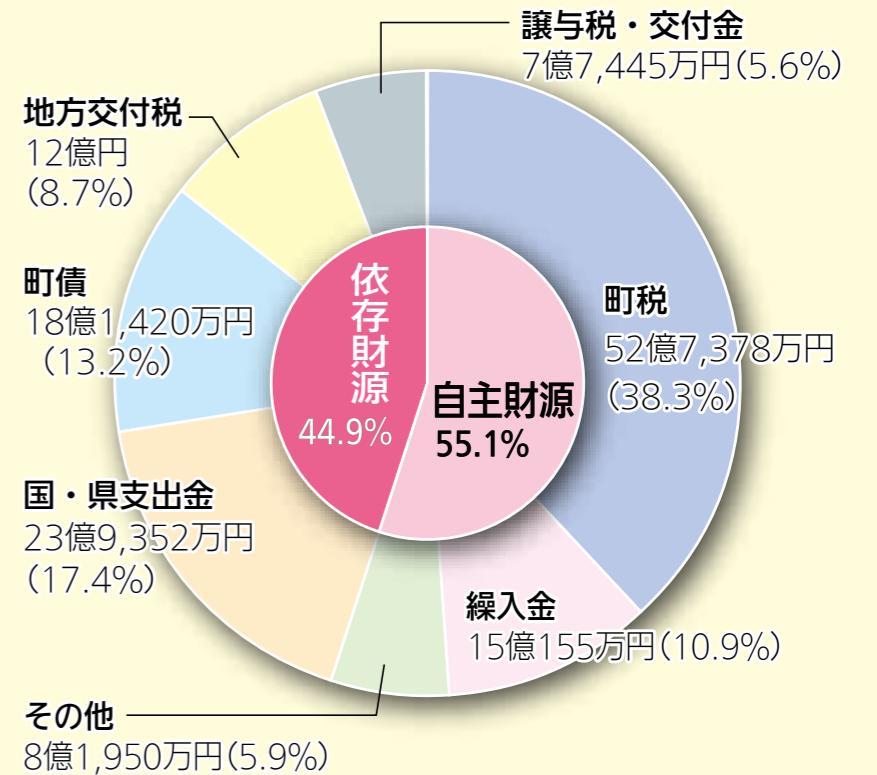
地方公共団体が国に依存せず自ら調達できる財源のこと。代表的なものは町税で、その他に諸収入、使用料・手数料、寄附金、繰越金などがあります。地方財政の自主性と安全性を確保する上では、歳入全体に占める自主財源の割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

■依存財源 (44.9%) 61億8,216万円

国や県の決定や割り当てに基づいて収入するもの。国・県支出金のほか、譲与税、利子割交付金等の各種交付金、町債が該当します。

用語解説

- 町税**
皆さんが町に納めた税金(町民税、固定資産税、軽自動車税など)です。
- 地方交付税**
全国どこでも同じ行政サービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。
- 国・県支出金**
国や県が使いみちを決めて交付するお金です。
- 町債**
町が銀行等から借り入れるお金です。
- 繰入金**
歳入の不足を補うために、基金(貯金)や特別会計から繰り入れたお金です。



※ 予算を年間収入676万4千円の家庭とすると

給料収入 (町税)	258万9千円 (52億7,378万円)
パート収入 (その他・譲与税・交付金)	78万3千円 (15億9,395万円)
親からの援助 (地方交付税・国・県支出金)	176万4千円 (35億9,352万円)
銀行からの借金 (町債)	89万1千円 (18億1,420万円)
貯金取崩 (繰入金)	73万7千円 (15億1,555万円)

※()内は当初予算額
※一般会計予算額を全国消費実態調査における宮城県の年間収入676万4千円に合わせたもの。

予算を町民一人あたりにすると…

民生費 子どもや高齢者、障がい者の福祉などに 77,476円 (74,548円)	教育費 小中学校・幼稚園など教育のために 80,163円 (52,093円)	総務費 防災や交通安全、町民バスの運行に 32,272円 (30,722円)
衛生費 ごみ処理や病気の予防などに 24,453円 (24,943円)	268,672円 (234,767円) ※平成26年2月末日現在の住民基本台帳人口51,278人で換算しています。 ※()内は昨年度の金額です。	土木費 道路や公園などの整備に 23,661円 (21,695円)
消防費 地域の防災や消防団の活動のために 12,046円 (11,823円)	公債費 借金返済に 9,086円 (8,950円)	その他 産業や議会関連経費などに 9,515円 (9,993円)

特別会計と水道事業会計の予算

特別会計とは、特定の歳入を充てて特定の目的の事業を行うもので、一般の歳入歳出と区分して会計処理を行う会計のことをいいます。

各会計とも、厳しい財政事情のもと、健全な運営に努めてまいります。

◎特別会計の予算

特別会計名	当初予算額	主な内容
国民健康保険	39億 840万円	国保医療費、特定健康診査など
介護保険	20億2,807万円	介護サービス給付費など
後期高齢者医療	2億7,447万円	後期高齢者医療広域連合への納付金など
下水道事業	8億8,436万円	公共下水道の整備など

◎水道事業会計

水道事業会計は、一般会計と異なり企業会計の方式によって経営しています。安全でおいしい水道水を安定供給するために、水道施設の維持管理等を行っています。

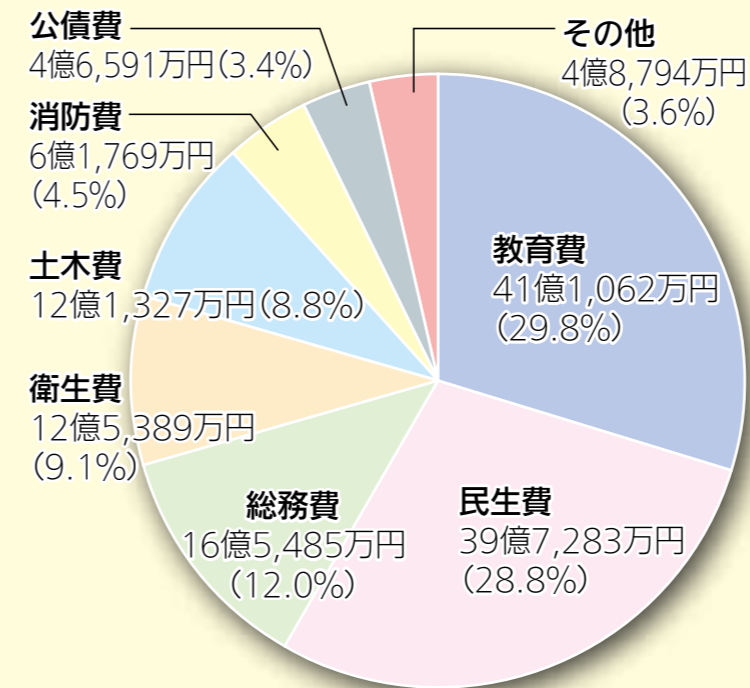
区分	当初予算額	主な内容
収益的収支	収入	12億2,645万円
	支出	11億3,668万円
資本的収支	収入	4,788万円
	支出	1億1,641万円

収入のほとんどは水道料金で、支出は職員給与や固定資産の減価償却費など
支出は施設整備・拡充などの資産取得等の経費

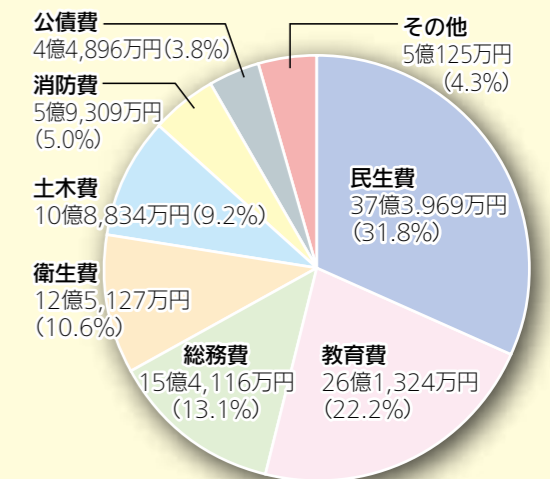
平成26年度一般会計予算

137億7,700万円

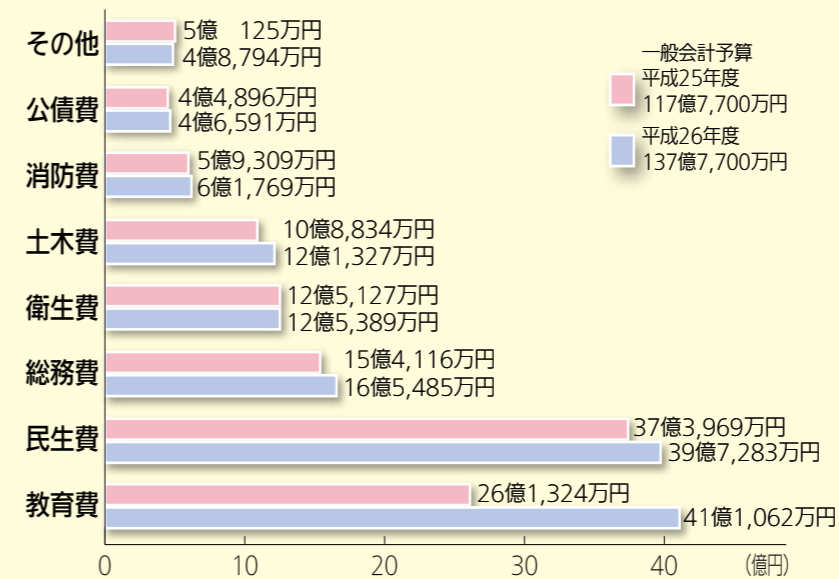
お金の使いみち



参考：平成25年度 一般会計の歳出額
117億7,700万円



昨年度と比較すると…



教育費が平成25年度と比較して、14億9,737万円増の41億1,061万円と全体の29.8%を占めています。主な事業としては(仮称)明石台小学校の建設事業や、総合運動公園内に(仮称)スポーツ・文化交流館の新築工事を行います。

用語解説

- 民生費**
児童・高齢者・障害者福祉、医療費助成など福祉全般の経費です。
- 教育費**
小中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費です。
- 総務費**
防犯、交通安全、町民バスなどの経費です。
- 衛生費**
健康や生活環境などの経費です。
- 土木費**
道路の管理や改良、町営住宅、公園管理などの経費です。
- 消防費**
地域の防災や消防団活動の経費です。
- 公債費**
借りたお金やその利子を返還する経費です。
- その他**
議会費などの経費です。

子育て支援課

保育所運営・維持管理事業 ……1億7,974万円
町立4保育所の運営・維持管理費です。

認可保育所運営事業 ……4億5,895万円
認可保育所3園の運営費です。

認可外保育所運営費補助事業 ……3,446万円
認可外保育所への運営費補助です。また、認可外保育所へ入所する世帯へ、保育料の一部を助成します。

子ども医療費助成事業 ……2億1,000万円
子育て家庭の経済的負担を軽減するため、入院・通院とも中学3年生まで、通院初診料算定時に500円、入院1日あたり500円を除いた医療費を助成します。

児童手当支給事業 ……11億 185万円
国の制度に基づき、中学校修了前までの児童を対象に児童手当を支給します。なお、児童手当は町で一定の財源を負担します。

家庭的保育事業 ……2,486万円
保育ママの居宅で、家庭的な雰囲気の中保育する保育経費委託料および助成金です。



ファミリー・サポート支援事業 ……661万円
ファミリー・サポート・センター事業および育児ヘルプサービス事業を富谷町社会福祉協議会へ委託し、安心して子育てができる地域社会を構築します。

子育て支援事業 ……2,223万円
新生児訪問・乳幼児健診や離乳食教室等の開催のほか、子育て情報誌の発行など、子育て家庭を支援します。



感染症予防事業 ……1億5,182万円
BCGや不活化ポリオワクチン、四種混合予防接種個人接種の各予防接種費用を助成し、感染予防に努めます。

妊婦支援事業 ……5,761万円
母親教室の開催、母子健康手帳交付時の相談事業などを通して、妊婦の支援を図ります。また、妊婦健診については14回分を助成します。

(仮称) 明石台小学校放課後児童クラブ新設事業 ……9,295万円
(仮称)明石台小学校の新設に伴い児童の安全確保のため、学校敷地内(校舎に併設)に放課後児童クラブ棟を新設します。

子育て支援拠点整備事業 ……5,026万円
子育て支援および母子保健機能を備えた複合施設の建設を目的とした整備を行います。

健康増進課

住民検診事業 ……1億6,612万円
生活習慣病予防の健康診査や各種がん検診、脳検診等を適正に行い、健康管理を促進します。

国民健康保険特定健康診査等事業・疾病予防事業 ……6,713万円
富谷町国民健康保険に加入している方のうち、40歳から74歳までの方を対象に、生活習慣病に着目した集団健診ならびに個別健診を実施します。また、健診の結果により保健師等が特定保健指導を行うことで、予防や改善を図り疾病の早期発見・早期治療・健康保持増進を支援します。

食育推進事業 ……59万円
学校給食センターを活用した食育教室や農業体験教育を実施し、食育推進を図ります。

再生可能エネルギー等導入事業 ……1億5,627万円
富谷武道館とあけの平公民館、日吉台公民館、鷹乃杜防災センターに、太陽光発電システム(太陽光パネル)を導入します。〔総務課・生涯学習課〕



健康づくり事業 ……177万円
健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取組めるように、「さあ!歩効果ウォーキング大会」などの健康づくり事業を実施します。

健康推進員育成事業 ……378万円
健康づくりに必要な知識習得のため、研修会などを開催し健康推進員を育成します。

感染症予防事業 ……2,321万円
インフルエンザ対策として、原則65歳以上の方を対象に予防接種の助成をします。また、感染症疾病の予防、公衆衛生の面から肺炎球菌の予防接種を実施します。

黒川地区休日当番医事業 ……248万円
黒川郡医師会と連携し、休日や祝日の当番医を設置します。

平成26年度に実施する まちの主な仕事

「富谷町総合計画」の3つの将来像に沿って、平成26年度に実施する主な仕事を紹介します。



将来像 1

子どもたちのための教育環境と未来を創り出すまち すべての世代が生き生きと暮らせるまち

未来の富谷を担う子どもたちへの教育の充実

学び続けることのできる環境の整備

安心して子育てのできる環境の整備

誰もが健康で生き生きと生活できる環境づくり

学校教育課

(仮) 明石台小学校建設事業 ……19億2,862万円
児童数が増加している東向陽台小学校から、平成27年度の開校を目指し、建設を進めます。



町立小学校運営・維持管理事業 ……1億9,240万円
町立小学校7校に配置している特別教育支援員の賃金を含めた学校運営・管理費です。

町立中学校運営・維持管理事業 ……1億5,942万円
町立中学校5校に配置している特別教育支援員の賃金を含めた学校運営・管理費です。

とみや子どもまつり事業 ……336万円
未来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、子どもたちの可能性を伸ばす機会として、とみや子どもまつりを開催します。

生涯学習課

総合運動公園運営・維持管理事業 ……2億 857万円
スポーツセンターや武道館などを運営・管理します。Aグラウンド連絡通路階段設置工事等を着工します。

図書・視聴覚教育事業 ……823万円
各公民館の図書管理システムの運営および蔵書を充実することにより、公民館図書室の利便性の向上を図ります。

町立小学校図書推進事業 ……2,127万円
読書習慣の定着化と読書活動の充実、調べる学習の推進を図るとともに、読書を通して子どもたちの「生きる力」を育成します。

町立中学校図書推進事業 ……1,473万円
読書習慣の定着化と読書活動の充実を図るとともに、読書を通して子どもたちの「生きる力」を育成します。

幼稚園就園奨励費補助事業 ……1億2,473万円
幼稚園の入園料および保育料等を助成し、子育て家庭を支援します。

学校給食センター

学校給食センター運営・維持管理事業 ……4億7,383万円
学校給食センターの円滑な運営による安定した学校給食の提供を行うため、給食センターの運営・維持管理を行います。



西成田コミュニティセンター運営・維持管理事業 ……1,295万円

西成田コミュニティセンターの運営・維持管理費です。町民の交流・学び・憩いの場、コミュニティを育む学習施設として運営します。



経営企画課

町民バス運営事業……………2,649万円

町内公共施設を結ぶ町民バスを適正に運営します。70歳以上の方や障害をお持ちの方、65歳以上で運転免許証を返納された方などへ、無料乗車証を配布しています。



町民生活課

一般廃棄物収集運搬処理事業……………2億 304万円
生活ごみ等の一般廃棄物を適正に収集・運搬します。

一般廃棄物処理（仙市委託分）事業……………1億4,453万円
生活ごみ等の一般廃棄物の処理は、仙台市へ委託しています。（仙台市と共同建設した仙台松森工場で処理されています）

粗大ごみ処理施設運営・維持管理事業……………4,340万円
富谷町清掃センター内の粗大ごみ処理施設の適切な維持管理に努め、粗大ごみを適正に処理します。

リサイクル推進事業……………717万円
ビンや容器包装プラスチックなどのごみのリサイクル化を図るため、適正処分・処理を行い、循環型社会の構築に努めます。

総務課

災害対策総務事務……………862万円
自主防災組織や町内会の防災活動を支援します。また、災害発生時に迅速に対応できるよう、地域防災計画を策定します。



防災用情報通信設備等維持管理事業……………635万円
防災行政無線の適正な運用と管理に努めます。



交通安全指導員設置・運営事業……………305万円
交通安全指導員の確保と交通安全知識の習得および技術の向上を図ります。

あったかまちづくり推進課

十三夜魂のふるさとまつり運営事業……………979万円
ふるさと富谷の歴史と絆を紡ぐ町民総参加のまつりを開催し、町の活性化とあったかな交流を推進します。なお、今年のまつりは、10月12日(日)に開催されます。



上下水道課

上水道施設維持管理事業……………4,743万円
配水池などの機器や漏水している配水管を適正に点検・修繕し、水道水の安定供給を図ります。

下水道本管補修等事業……………5,298万円
下水道本管内等をテレビカメラにより点検・調査し、修繕・改修工事等を行います。

合併処理浄化槽設置事業……………1,226万円
生活排水や特定事業所等の排水の水質検査を適正に行い、公共用水域の水質保全を図ります。

消防団員設置・運営事業……………1,651万円
消防団員の確保・訓練・育成等により、消防体制の強化を図ります。



交通安全啓発・教育事業……………186万円
交通安全運動を実施するなど、交通安全意識を普及し交通事故のない明るいまちづくりを進めます。



長寿福祉課

障害者自立支援給付事業……………2億8,616万円
障害者総合支援法の法定サービスで、介護給付・訓練等給付を行うことにより、障害者の方が施設や地域で自立した生活が送れるように支援します。

後期高齢者医療制度運営事業……………2億5,961万円
宮城県後期高齢者医療広域連合と連携し、適切な運用を図ります。

高齢者在宅生活支援事業……………2,200万円
高齢者やその家族の方が住み慣れた地域で安心して暮らせるように生活支援および介護予防・生きがい活動の支援を行います。

地域福祉フォーラム事業……………135万円
地域福祉について考え、広く学ぶ機会とするため、地域福祉フォーラムを開催します。

社会福祉協議会補助事業……………2,870万円
福祉活動を展開する富谷町社会福祉協議会を支援するため、補助金を交付します。

地域生活支援事業……………1,891万円
相談支援事業や日常生活用具給付事業、訪問入浴サービス事業などにより、障害者が自立した生活を営めるよう支援します。

地域活動支援センター運営事業……………1,722万円
地域活動支援センターの運営・維持管理費です。在宅の身体・知的・精神障害者が、日常生活動作の訓練や作業、地域社会との交流を通じて、自立した日常生活や社会生活を営めるように努めます。

保健福祉総合支援センター運営・維持管理費事業……………827万円
障害者・高齢者全般の総合窓口である保健福祉総合支援センターの運営・維持管理費です。

福祉健康センター維持管理費および各種事業……………1,541万円
高齢者の生きがいづくり、介護予防事業を行っている福祉健康センターの運営・維持管理費です。

心身障害者医療費助成事業……………5,583万円
重度の心身障害者にかかる医療費を助成します。

将来像 2

豊かな自然環境と活力ある地場産業を 自慢と誇りにできるまちづくり

企業誘致による新たな就業の場の提供

地域資源を活かした魅力の向上

“居住の場”として選択されつづけるための環境づくり

安心して生活できる環境づくり

産業振興課

企業誘致事業……………4,209万円
事業所の立地促進および規模拡大の支援を行い、町の産業振興と雇用機会の拡大を図ります。

労働雇用対策事業……………1,620万円
高齢者の就業機会拡充のため、シルバー人材センターへ補助金を交付し、運営を支援します。

中小企業制度融資事業……………9,429万円
中小企業振興資金融資をあっせんし、1%の利子補給を行うことで、さらなる中小企業の経営安定を図ります。

ブルーベリー産地拡大事業……………191万円
町の特産品であるブルーベリーの消費拡大を目指し、富谷町ブルーベリー生産組合への支援と販路拡大に取り組めます。



生産調整事業……………691万円
生産調整目標の達成と生産調整水田を活用した農産物の生産拡大を図ります。

緊急雇用「新商品販売全国展開・観光誘客業務」……………693万円
地元工商業者の地元商品や特産物の商品開発を行い、その商品の販売促進を図ります。また、観光誘客の取組みを行います。

観光物産振興対策事業……………145万円
地場産品の新規創造と既存産品の生産拡大並びに販路の開拓により、産業振興を図ります。

農業振興事務……………914万円
野菜栽培農家の増加・栽培量の拡大の支援と産地直売の生産体制の充実を図り、農業に関する各種補助金等の取扱いを行います。

レクリエーション農園支援事業……………83万円
休耕田の有効活用として、レクリエーション農園（貸農園）を整備し、団地住民との交流を図ります。

富谷250園芸促進事業……………105万円
農産物の直売や町民との交流を通じた、農業情報の受発信を活発に行い、町民生活に直結した農業振興を図ります。

将来像③

町民と町が直接つながる あったかいまちづくり

住民との協働による
まちづくり

効果的・効率的な行政運営



経営企画課

5万人都市推進事業 ……1,103万円
平成28年の市制移行へ向けて、国・県と具体的な事業について調整を進め、町民への的確な情報提供に努めます。

行政情報紙発行事業 ……1,733万円
町と町民との懸け橋である広報とみや等を発行し、町の施策に関する情報などを発信していきます。



広報掲示板整備事業 ……298万円
老朽化した広報掲示板を順次、撤去・新設します。



地域情報化推進事業 ……199万円
町ホームページを適正に運営・管理します。また、ツイッターやフェイスブックなどのソーシャルメディアを活用した情報発信体制のさらなる充実を目指します。



税務課

固定資産税賦課事業 ……1,703万円
納税者の正確な把握と適正かつ効率的な評価システムの構築を図り、公正で適正な町税の課税に努めます。

総務課

町内会館整備事業 ……8,126万円
富ヶ丘北部会館の新設工事等を行います。



自治振興事業 ……1,566万円

地域振興を図るため、各町内会へ補助金を交付し活動を支援します。



マイナンバー制度対応事業 ……2,241万円
平成27年10月に、個人番号を通知するため、既存システムの改修を行います。

消費者行政推進事業 ……74万円
消費生活相談窓口を設け、消費生活に関する相談・啓発を行い、消費者被害の未然防止に取組みます。

財政課

財政運営事務 ……374万円
計画的・効果的な財源配分を行い、効率的な財政運営を図ります。

公有財産維持管理事業 ……1億 345万円
役場庁舎や町が所有する土地・建物等を適正に管理します。



都市整備課

町道維持管理事業 ……1億4,247万円
道路の舗装補修、街路樹の剪定、道路敷の除草などを実施し、町道を適正に管理します。

町道除融雪事業 ……7,780万円
除雪・融雪作業により、冬季期間の町道の安全を確保します。

道路改良事業

- 町道高屋敷線** ……3億3,372万円
- 町道郷田線** ……4,812万円
- 町道大童今泉線** ……1,057万円
- 町道穀田三ノ関線** ……956万円



町道仏所太子堂中線外1路線歩道整備事業 ……2,815万円
平成21年度からの継続事業です。歩道のバリアフリー化を図り、安全かつ快適な歩行空間ネットワークを確保します。

都市計画課

一般公園維持管理事業 ……1億7,193万円
公園遊具や施設の点検・修繕、除草や樹木の剪定を行い、適正に管理します。



住宅地震対策事業 ……676万円
木造住宅耐震診断、耐震改修工事助成事業・公道に面した危険ブロック塀除去、生け垣等の設置助成事業などにより、震災対策を支援します。

都市計画事業 ……173万円
市街化区域、用途地域および地区計画等により、適正な都市計画を誘導します。

防犯灯整備事業 ……5,998万円
防犯灯の新設と既設防犯灯の修繕を適切に行い、通学路や地域の生活道路における防犯上の安全を確保します。

河川維持管理事業 ……1,239万円
河川災害防止や環境保持のため、調整池のフェンス修繕や除草業務などを行い、適正な維持管理を行います。

橋梁維持管理事業 ……566万円
橋梁の予防的な修繕を図り、適正な維持管理を行い、安全を確保します。

道路交通安全施設整備事業 ……3,419万円
交通安全施設を整備することにより、道路利用者の安全を確保します。



上投木地区

大亀山森林公園維持管理事業 ……2,060万円
ちびっ子ゲレンデや公園遊具の補修等を行い、公園内を整備・管理します。



町営住宅維持管理事業 ……187万円
建物の点検・修繕、団地内の除草等を行い、町営住宅の適正な維持管理に努めます。



町営宮ノ沢住宅

予算が決定するまで

平成25年

- 10月上旬 オータムレビュー（主要課題調整会議）
決算議会をふまえ、各部各課の重点施策を町長が直接ヒアリング。
- 10月中旬 予算編成方針調整期間
国政動向、経済情勢、町政課題を把握し、歳入(収入)額を見込み、必要な情報を収集。新年度予算の方向性を部長会議で協議。
- 10月下旬 平成26年度予算編成方針決定・発表
庁議開催（参集範囲：部長、課長）

- ・平成26年度予算編成にあたって町政運営の基本方針（町長）
 - ・平成26年度当初予算編成方針（企画部長）
- 上記方針を町ホームページに掲載。

- 11月上旬 予算見積書作成
各部各課において見積書を作成
部課長に提出
※町政懇談会（11月～3月、東向陽台・成田・富ヶ丘・あけの平・富谷中央公民館区、富谷北部、町三区、旧西成田小学校区）の開催

予算編成は町長が予算案を作成し、年度開始前に議会の議決を経ることになっています。町が行う事業の効率性が求められるため、各部各課における段階的な作業、精査を経て予算案を策定します。

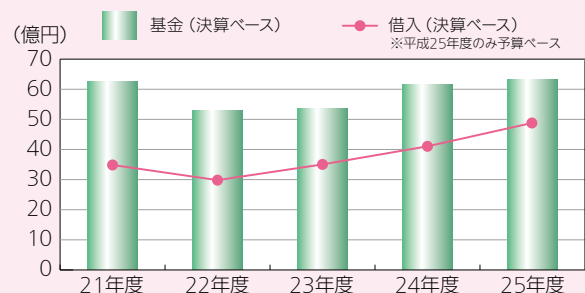
- 11月下旬 予算見積書財政課提出締切
12月中旬 第一次査定（財政課査定）
12月下旬 第二次査定（企画部長査定）
財政課長から企画部長に第一次査定結果の提示

平成26年

- 1月中旬 第二次査定内定
国の平成25年度補正予算および平成26年度予算案により、町の予算に反映する内容の最終判断。
- 1月下旬 第三次査定（町長査定）3回実施
・町長判断を要する事業や政策的事業について、各部長等からヒアリング内容の説明。基金の運用や町債残高等の総合的検討。
・平成26年度当初予算案確定（予算書印刷）
・各部長等へ最終査定結果を当初予算案として通知
- 2月下旬 議案審議
予算書配布。予算案審議のため、予算審査特別委員会の設置。
- 3月中旬 予算案の議決
4月 新年度予算執行開始

町の基金(貯金)と借入(借金)について

基金は、財政調整基金の取崩しはあるものの、安定的に推移しており、将来に向けた新たなまちづくりの財源やサービスの充実に充てられます。



平成26年度借金(新規借入)見込額の状況

臨時財政対策債（普通交付税削減の補てん）の借入を予定していますが、財政運営の推移により、借入額を減らすことがあります。

充当事業	借入額
(仮称)明石台小学校放課後児童クラブ新設事業債	6,630万円
(仮称)明石台小学校校舎新築事業債	7億8,830万円
(仮称)明石台小学校屋内運動場整備事業債	3億2,320万円
(仮称)明石台小学校プール整備事業費	1,540万円
臨時財政対策債	6億2,100万円

平成26年度貯金(基金)取崩しの状況

基金名	取崩予定額(充当額)	充当事業
財政調整基金	13億6,238万円	歳入歳出の過不足を調整
ふるさと富谷創造基金	1億3,000万円	総合運動公園運営・維持管理事業
庁舎整備基金	800万円	公有財産維持管理事業
長寿社会福祉基金	117万円	ボランティアセンター運営事業